

様式第二号の九(第八条の四の六関係)

(第1面)

産業廃棄物処理計画実施状況報告書

令和 2 年 6 月 1 日

宮崎県知事

殿



提出者

住所 宮崎県小林市真方1059番地27

氏名 株式会社丸山工務店

代表取締役 橋元 清一

電話番号 0984-23-2705



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第10項の規定に基づき、 年度の産業廃棄物
処理計画の実施状況を報告します。

事業場の名称	株式会社丸山工務店
事業場の所在地	宮崎県小林市真方1059番地27
事業の種類	建設業
産業廃棄物処理計画における 計画期間	令和元年4月1日令和2年3月31日

産業廃棄物処理計画における目標値

項目	目標値	項目	目標値
排出量	821.9 t	全処理委託量	821.9 t
自ら再生利用を行う 産業廃棄物の量	t	優良認定処理業者への 処理委託量	t
自ら熱回収を行う 産業廃棄物の量	t	再生利用業者への 処理委託量	t
自ら中間処理により減量する 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者への 処理委託量	t
自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行う 産業廃棄物の量	t	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t
※事務処理欄			

(日本工業規格 A列4番)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類 : コンクリート殻)

有 傷 物 量
① 368.06t

不 要 物 等 発 生 量
②

自ら直接 再生利用した量
③

自ら中間処理した後 再生利用した量
⑧

排 出 量
① 368.06t

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後 再生利用した量

項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量	自ら中間処理した 後の残さ量	自ら中間処理によ り減量した量	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量	⑩のうち熱回収認定 業者への処理委託量	⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量
①排出量	368.06t	④	⑥	⑦	⑩	⑫	⑬
②+⑧自ら再生利用を行った量							
⑤自ら熱回収を行った量							
⑦自ら中間処理により減量した量							
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量							
⑪全処理委託量	368.06t						
⑫優良認定業者への 処理委託量							
⑬再生利用業者への処 理委託量							
⑭熱回収認定業者への処 理委託量							
⑮熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量							

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： アスファルト殻)

有 償 物 量

不要物等発生量

排出量 ① 557.96t

自ら直接 再生利用した量 ②

自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量 ③

項目	実績値	自ら中間処理した後 の残さ量 ⑥	自ら中間処理した 後 ④	自ら中間処理によ り減量した量 ⑦	直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑩	⑪のうち熱回収認定 業者への処理委託量 ⑫	⑪のうち再生利用 業者への処理委託量 ⑬	⑪のうち優良認定 処理業者への 処理委託量 ⑭
①排出量	557.96t							
②+⑧自ら再生利用を行った量			④					
⑤自ら熱回収を行った量				④のうち熱回収 を行った量 ⑤				
⑦自ら中間処理により減量した量					直接及び自ら 中間処理した後の 処理委託量 ⑩			
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量						⑪のうち熱回収認定 業者以外の 熱回収を行う業者 への処理委託量 ⑫		
⑩全処理委託量	557.96t							
⑪優良認定処理業者への 処理委託量								
⑫再生利用業者への処理 委託量								
⑬熱回収認定業者への処 理委託量								
⑭熱回収認定業者以外の 熱回収を行う業者への処 理委託量								
自ら中間処理した後 再生利用した量 ⑧								

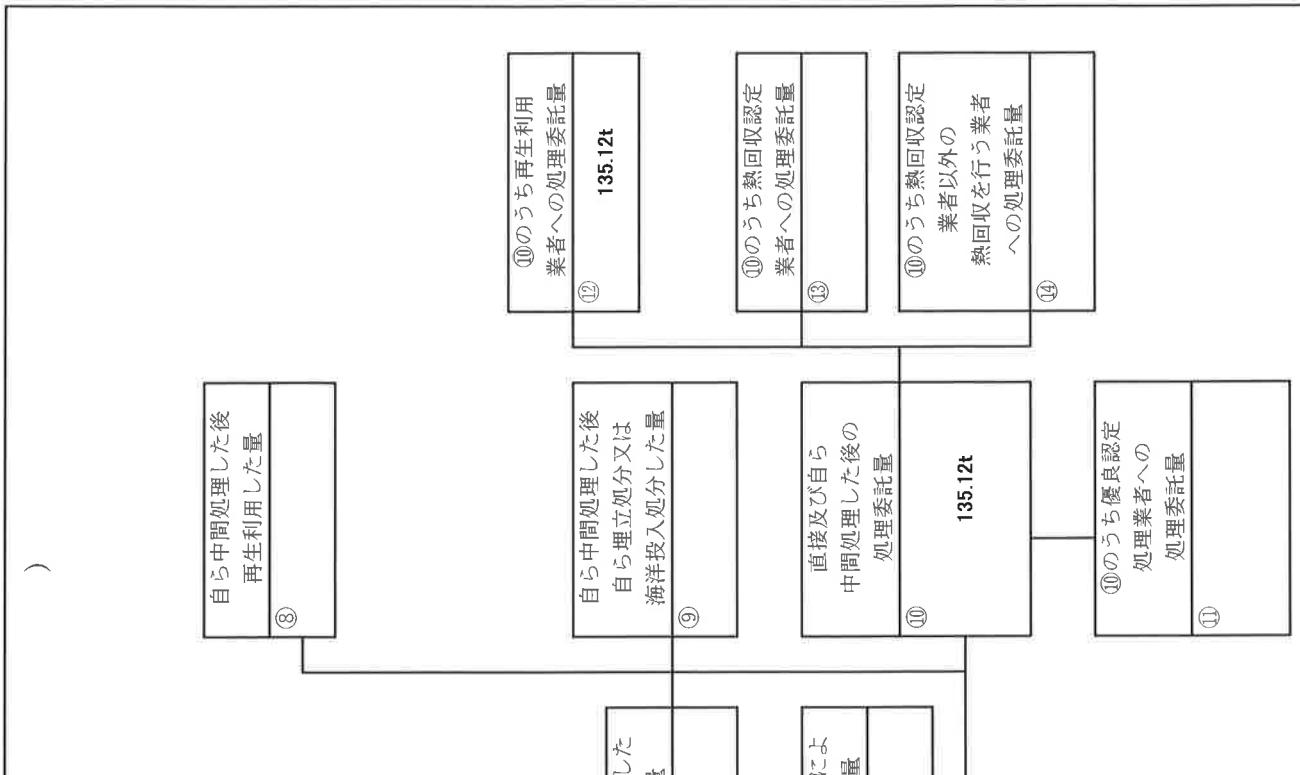
(第2面)

計画の実施状況	
①排出量	135.12t
②有償物量	
③排出量	135.12t
④自ら直接再生利用した量	
⑤自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量	
⑥自ら中間処理した後の残さ量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
⑧自ら熱回収を行った量	
⑨自ら中間処理による減量した量	
⑩全処理委託量	135.12t
⑪優良認定処理業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	

(産業廃棄物の種類：木くず)

)

(第2面)



計画の実施状況

(産業廃棄物の種類：汚泥)

有償物量
不 要 物 等 発 生 量

不 要 物 等 発 生 量
0.42t

排出量
0.42t

項目	実績値
①排出量	0.42t
②+⑧自ら再生利用を行った量	
⑤自ら熱回収を行った量	
⑦自ら中間処理により減量した量	
③+⑨自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った量	
⑩全処理委託量	0.42t
⑪優良認定業者への処理委託量	
⑫再生利用業者への処理委託量	
⑬熱回収認定業者への処理委託量	
⑭熱回収認定業者以外の業者への処理委託量	

)

自ら直接再生利用した量
②

自ら直接埋立処分又は海洋投入処分した量
③

自ら中間処理した後再生利用した量
⑧

⑪のうち再生利用業者への処理委託量
⑫ 0.42t

自ら中間処理した後自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
⑨

自ら中間処理した後の残さ量
⑥

自ら中間処理により減量した量
⑦

直接及び自ら中間処理した後の処理委託量
⑩

⑪のうち熱回収認定業者への処理委託量
⑫

(第2面)

計画の実施状況

(産業廃棄物の種類： 廃プラスチック)

有 傷 物 量

不 有 物 等 発 生 量

排 出 量	2.61t
-------	-------

項目	実績値	備考
①排出量	2.61t	自ら中間処理した後 再生利用した量
②+⑧自ら再生利用を行った量		自ら直接 再生利用した量
⑤自ら熱回収を行った量		自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量
⑦自ら中間処理により減量した量		自ら中間処理した後 直接及びび自ら 中間処理した後の 処理委託量
③+⑨自ら埋立処分又は 海洋投入処分を行った量		自ら中間処理により 減量した量
⑪全処理委託量	2.61t	自ら中間処理した後 再生利用した量
⑫優良認定業者への 処理委託量		⑪のうち優良認定 業者への 処理委託量
⑬再生利用率 委託量		⑪のうち再生利用率 委託量
⑭熱回収認定業者への処 理委託量		⑪のうち熱回収認定 業者への 処理委託量
⑮熱回収を行つた業者 への処理委託量		⑪のうち熱回収を行つた 業者への 処理委託量

自ら直接 再生利用した量	②	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧
自ら直接埋立処分又は 海洋投入処分した量	③	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑪のうち再生利用率 業者への処理委託量
自ら中間処理した後 再生利用した量	④	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑫
自ら中間処理した後 再生利用した量	⑥	自ら中間処理した後 再生利用した量	⑯
自ら中間処理により減 量した量	⑦	自ら中間処理により減 量した量	⑬
自ら中間処理により減 量した量	⑤	自ら中間処理により減 量した量	⑭
自ら中間処理により減 量した量	⑩	自ら中間処理により減 量した量	⑮
自ら中間処理により減 量した量	⑪	自ら中間処理により減 量した量	

自ら中間処理した後 再生利用した量	⑧
----------------------	---

(第2面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 「事業の種類」の欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
- 3 「産業廃棄物処理計画における目標値」の欄には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載した目標値を記入すること。
- 4 第2面には、前年度の産業廃棄物の処理に関して、①～⑯の欄のそれぞれに、(1)から(14)に掲げる量を記入すること。
 - (1) ①欄 当該事業場において生じた産業廃棄物の量
 - (2) ②欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら再生利用した量
 - (3) ③欄 (1)の量のうち、中間処理をせず直接自ら埋立処分又は海洋投入処分した量
 - (4) ④欄 (1)の量のうち、自ら中間処理をした産業廃棄物の当該中間処理前の量
 - (5) ⑤欄 (4)の量のうち、熱回収を行った量
 - (6) ⑥欄 自ら中間処理をした後の量
 - (7) ⑦欄 (4)の量から(6)の量を差し引いた量
 - (8) ⑧欄 (6)の量のうち、自ら利用し、又は他人に売却した量
 - (9) ⑨欄 (6)の量のうち、自ら埋立処分及び海洋投入処分した量
 - (10) ⑩欄 中間処理及び最終処分を委託した量
 - (11) ⑪欄 (10)の量のうち、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量
 - (12) ⑫欄 (10)の量のうち、処理業者への再生利用委託量
 - (13) ⑬欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量
 - (14) ⑭欄 (10)の量のうち、認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量
- 5 第2面の左下の表には、項目ごとに、産業廃棄物処理計画に記載したそれぞれの実績値を記入すること。
- 6 産業廃棄物の種類が2以上あるときは、産業廃棄物の種類ごとに、第2面の例により産業廃棄物処理計画の実施状況を明らかにした書面を作成し、当該書面を添付すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。